

3 特別支援学校

初任者は、1年間、学級や教科等を担当しながら、指導教員等の指導・助言を受けるとともに、総合教育センター等において研修するものとする。

また、その後2年目・3年目においても、校内研修を継続するとともに、校外研修として総合教育センター等で研修を重ねるものとする。

初任者研修計画は、初任者研修実施要領第6の規定により、2年目・3年目研修計画は2年目・3年目研修実施要領第5の規定により、次のとおりとする。

1 研修内容

(1) 初任者研修

ア 校内研修（年間150時間程度（教職大学院修了者は、年間75時間程度））

初任者が所属する学校において作成する年間指導計画に基づき、授業等に関する具体的な研修を行うとともに、校務処理や学校教育全般について実務に即した研修を行う。

イ 校外研修（年間15日間）

社会人としての心構え、服務、学習指導、生徒指導のうち基礎的理論や、指導法及び実技に関する研修を行う。

(7) 県教育委員会研修（授業研修）（年間3日間）

(4) 総合教育センター研修（年間12日間）

(2) 2年目研修

ア 校内研修（年間10時間程度（授業研修（年間5時間程度）及び自己研修（年間5時間程度））

所属する学校において、初任者研修の成果を踏まえ、より実践的な授業研修及び自己研修を行う。

イ 校外研修（年間4日間）

(7) 総合教育センター研修Ⅰ（2日間）

学習指導、生徒指導等の基礎的理論や指導法及び実技に関する研修を行い、確かな指導力の向上を図るため実施する。

(4) 総合教育センター研修Ⅱ（2日間）

各種障がいに応じた児童生徒の理解と支援、インクルーシブ教育に関する研修、自己研修の取組の交流等を行う。

(3) 3年目研修（年間10時間程度（授業研修（年間5時間程度）及び自己研修（年間5時間程度））

ア 校内研修

所属する学校において、2年目研修の成果を踏まえ、より実践的な授業研修及び自己研修を行う。

イ 校外研修（年間2日間）

総合教育センター研修（2日間）

学習指導、進路指導に関する研修、自己研修の取組の交流等を行う。

2 研修全体計画（別紙1 P35）

3 初任者研修年間計画

校内研修（年間150時間程度（教職大学院修了者は、年間75時間程度））

校長は、教員研修計画【基本研修内容】（別紙2 P36～37）を参照の上、原則、週時程に位置付けて行う年間150時間程度（教職大学院修了者は、年間75時間程度）について、初任者研修年間指導計画書（様式1）を作成し、実施する。

校外研修（年間15日間）

研修内容は教員研修計画【基本研修内容】（別紙2 P36～37）を参照

県教育委員会研修 (3日間)

授業研修 会場：盛岡視覚支援学校、盛岡峰南高等支援学校
所属校とは異なる学校において講義、演習及び授業参観を通して、授業に向かう教師の姿勢を身につけるとともに、学習指導力、生徒指導力の向上を図る。

総合教育センター研修 (12日間)

- (1) センター研修Ⅰ (3日間)
 - ア 岩手の教育が目指す方向性について理解し、教員としての使命感と幅広い知見を得る。
 - イ 教育課程の基本的内容や学習指導要領について、具体的な事例を通し、理解を深める。
 - ウ 特別支援学校における授業を実践する上で根幹となる基本的な事項を理解し、実践力の向上を図る。
- (2) センター研修Ⅱ (3日間)
 - ア 自己のメンタルヘルスや感情のコントロールについて理解を深める。
 - イ 自作教材を活用した授業実践について協議することによって、授業づくりにかかわる実践的指導力を高める。
 - ウ 子供たち個々の障がいの特性に応じた対応の仕方の基本について理解を深める。
- (3) センター研修Ⅲ (3日間) 会場：総合教育センター及び授業参観校
 - ア 「いわての授業づくり3つの視点」において、本県で共通して進めている授業の構成について理解するとともに、目標や指導内容、ICTを活用した授業づくり、評価の考え方について理解を深める。
 - イ 授業参観を通して、小学校における学力保障の組織的な取組と授業改善について理解を深め、授業研究の進め方について学び、実践事例の交流を通して実態を踏まえた全体及び個別の支援の在り方等について理解を深める。
 - ウ 事例や演習を通して、情報モラルに対する理解を深め、ICT活用の実践的な技能を高める。
- (4) センター研修Ⅳ (3日間)
 - ア 社会人としての心構えを確かなものとし、コンプライアンス等の教員としての素養を習得する。
 - イ 今までの自己の教育活動や教師としての在り方を振り返り、自己の成果と課題を明らかにする。
 - ウ 自己研修の意義と取組方法について理解するとともに、自己研修計画の作成と協議を通して計画に必要な視点を広げる。

4 2年目研修年間計画

校内研修 (年間10時間程度)

校長は、教員研修計画【基本研修内容】(別紙2 P36~37)を参照の上、授業研修(年間5時間程度)と自己研修(年間5時間程度)について、2年目研修年間研修計画書(様式5)を作成し、実施する。

研修項目	
・校内授業研修(年間5時間程度) ①教材研究 1時間程度 ②指導案作成、検討 1時間程度 ③研究授業 1時間程度 ④授業研究会 1時間程度 ⑤振り返り 1時間程度	・自己研修の推進(年間5時間程度) ①Plan (テーマ決定等) 2時間程度 ②Do (実践) 随時 ③Check (分析及び考察等) 3時間程度 ④Action (改善) 随時

校外研修 (年間4日間)

研修内容は教員研修計画【基本研修内容】(別紙2 P36~37)を参照

総合教育センター研修 (4日間)

- (1) センター研修Ⅰ (2日間) 会場：総合教育センター及び花巻清風支援学校
 - ア 授業参観を通して、授業づくりの在り方を考える。
 - イ 特別支援教育の理念とキャリア教育の目指すところについてのつながりや、授業への視点についての理解を深める。
 - ウ 教育課程における自立活動の位置付けや、具体的な指導の在り方について学び、実践に生かす。
- (2) センター研修Ⅱ (2日間)
 - ア 事件・事故災害発生時の危機管理について理解し、「いわての復興教育」の在り方を学ぶ。
 - イ 教科及び領域の目標等を踏まえた指導についての理解を深め、教員としての資質向上を図る。
 - ウ 自己研修の取り組み方に対する視野を広げるとともに、今後の取組への見通しを持つ。

5 3年目研修年間計画

校内研修 (年間 10 時間程度)

校長は、教員研修計画【基本研修内容】(別紙2 P36～37)を参照の上、授業研修(年間5時間程度)と自己研修(年間5時間程度)について、3年目研修年間研修計画書(様式7)を作成し、実施する。

研修項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内授業研修 (年間 5 時間程度) ①教材研究 1 時間程度 ②指導案作成、検討 1 時間程度 ③研究授業 1 時間程度 ④授業研究会 1 時間程度 ⑤振り返り 1 時間程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己研修の推進 (年間 5 時間程度) ①Plan (テーマ決定等) 2 時間程度 ②Do (実践) 随時 ③Check (分析及び考察等) 3 時間程度 ④Action (改善) 随時

校外研修 (年間 2 日間)

研修内容は教員研修計画【基本研修内容】(別紙2 P36～37)を参照

総合教育センター研修 (2 日間)

- ア 学習指導要領改訂のポイントを踏まえながら、道徳教育や生涯学習への意欲を高める視点からの授業の在り方などについて理解を深める。
- イ 実践事例に基づく授業構想や指導案作成の演習等により、個に応じた指導や評価の在り方について理解を深め、授業実践力の更なる向上を図る。
- ウ 自己研修の取組について交流を深めるとともに、今後取り組むテーマを設定することで、学び続ける教員としての自覚を持つ。

6 研修の運営

- (1) 校内研修
当该校が計画し、実施する。
- (2) 校外研修
 - ア 県教育委員会研修
学校教育室が計画し、実施する。
 - イ 総合教育センター研修
総合教育センターが計画し、実施する。

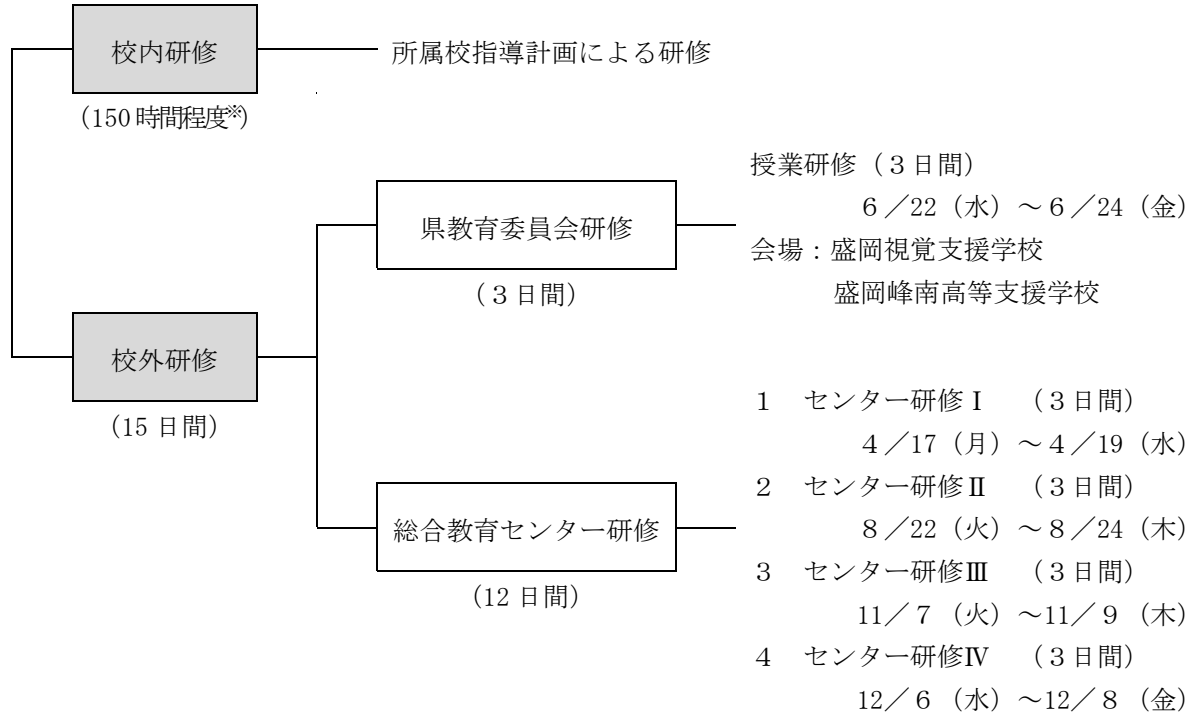
7 計画書及び報告書の提出

- (1) 校長は、初任者研修年間指導計画書(様式1)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、初任者研修年間指導計画書(同様式)の実施結果を取りまとめて初任者研修年間指導報告書(様式1)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。
 - ア 毎年度5月末までに提出するもの
初任者研修年間指導計画書(様式1)
 - イ 毎年度2月末までに提出するもの
初任者研修年間指導報告書(様式1)
- (2) 校長は、2年目研修年間研修計画書(様式5)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、2年目研修年間研修計画書(同様式)の実施結果を取りまとめて2年目研修年間研修報告書(様式5)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。
 - ア 毎年度5月末までに提出するもの
2年目研修年間研修計画書(様式5)
 - イ 毎年度2月末までに提出するもの
2年目研修年間研修報告書(様式5)
- (3) 校長は、3年目研修年間研修計画書(様式7)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、3年目研修年間研修計画書(同様式)の実施結果を取りまとめて3年目研修年間研修報告書(様式7)を作成し、県教育委員会に提出するものとする。
 - ア 毎年度5月末までに提出するもの
3年目研修年間研修計画書(様式7)
 - イ 毎年度2月末までに提出するもの
3年目研修年間研修報告書(様式7)

(別紙1)

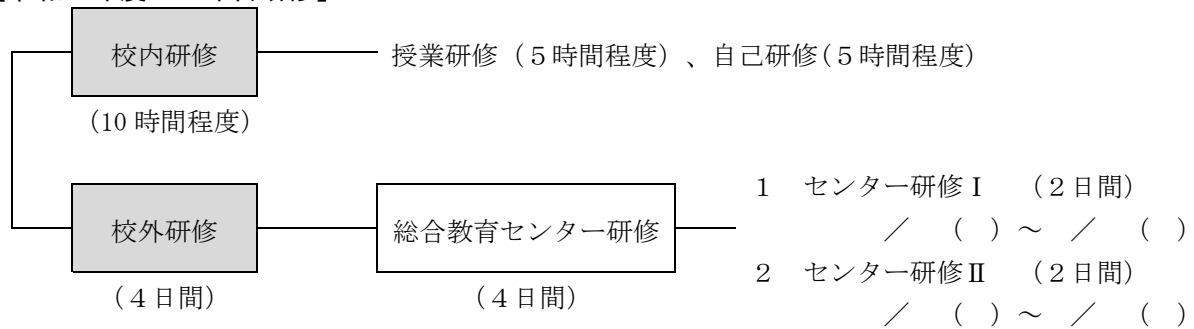
特別支援学校研修全体計画

【令和5年度 初任者研修】

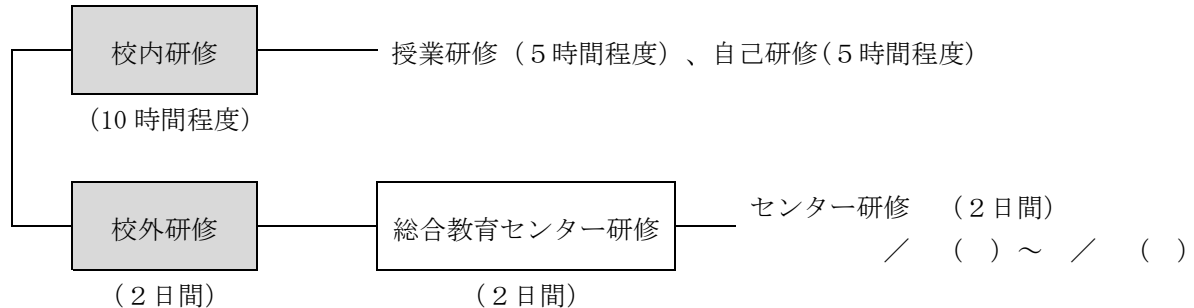


※教職大学院修了者は、年間75時間程度

【令和6年度 2年目研修】



【令和7年度 3年目研修】



キャリア・ライフステージ 研修実施機関等 育成指標	基礎力の形成期			
	初任者研修			
	所属校 (150時間程度)	県教育委員会 (3日間)	総合教育センター I(3日間)、II(3日間)、 III(3日間)、IV(3日間)	
教員としての素養	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に向かう教師の姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県特別支援教育の現状と課題 ・服務とその責任 ・社会人としての心構えとコンプライアンスの理解 ・メンタルヘルス不調の要因と対処 ・感情のコントロール ・自己研修の意義と進め方 	
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の理解と年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道徳教育 ・主権者教育の進め方 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方 		<ul style="list-style-type: none"> ・自立を目指す教育課程の在り方 ・カリキュラム・マネジメントの在り方 ・道徳教育の意義
	教科教育等の専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導の基礎技術 ・教材研究の進め方 ・特別活動の指導の実際 ・ICTを活用した教科指導の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業交流による授業設計の基礎 ・教科の特質と指導の方法 ・個に応じた指導の進め方 ・教科授業の参観と実際 ・授業の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活場面におけるICT活用 ・授業づくりの基礎・基本 ・教科指導の進め方 ・授業研究の進め方 ・自作教材・教具の作成と活用の仕方 ・自己研修(教科・領域指導)の進め方
	確かな学力を育む授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における児童生徒理解 ・評価問題の作成の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・通知表の作成の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化に向けた学習評価 ・授業参観と授業研究の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・いわての授業づくり3つの視点 ・チームティーチングの進め方 ・小学校における学力保障に向けた授業改善の実際(授業参観) ・教育実践の課題と改善
生徒指導力	発達支持的生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学級経営案の作成と評価 ・学年経営と学級経営の関わり ・学級組織のつくり方と運営 ・学級活動の指導の実際 ・学級事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 ・部活動の指導の進め方 ・(長期)休業中の生徒指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を支える学級経営の具体 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル指導の実際
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒への対応 ・問題行動の理解と指導の進め方 ・いじめ防止とその対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業交流による児童生徒への指導の具体 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画の作成と活用 ・いじめ問題の対応と生徒指導
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の成長や発達の理解
マネジメント力	学校組織としての連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営 		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全の意義と進め方 		<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報セキュリティポリシー
	関係者等との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談や保護者会、家庭訪問の進め方 		
復興教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわての復興教育」の実際 		<ul style="list-style-type: none"> ・「いわての復興教育」の意義 	
キャリア教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の意義と進め方 			
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわて特別支援教育推進プラン」の実際 ・心理検査法の実際 ・個別の指導計画等作成と活用の実際 ・合理的配慮の意義 ・交流及び共同学習の意義と実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・異障がい種特別支援学校における教育活動の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の意義 ・「いわて特別支援教育推進プラン」の意義と方向性 ・多様性と包摂性のある学校の在り方 	
ICTや情報・教育データの利活用の視点			<p>研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学</p>	

※ 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

【特別支援学校教諭 基本研修内容】

基礎力の形成期			
2年目研修		3年目研修	
所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター I(2日間)、II(2日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	センター研修 (2日間)
<ul style="list-style-type: none"> 自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安 	<ul style="list-style-type: none"> 採用2年目の教員に期待すること 自己研修の交流 	<ul style="list-style-type: none"> 自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安 	<ul style="list-style-type: none"> 自己研修の発表と協議
	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がいのある児童生徒の理解と支援 重度・重複障がいのある児童生徒の理解と支援 		
	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動の指導の基本 		<ul style="list-style-type: none"> 学習・生活場面におけるICT活用 道徳の教育と授業
<ul style="list-style-type: none"> 校内授業研修(年間1回5時間程度) 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校における授業づくりの実践(授業参観) 児童生徒の主体的な取組を支援する授業づくり(授業研究会) インクルーシブ教育システム推進の視点からの授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> 校内授業研修(年間1回5時間程度) 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導と評価の要点 個に応じた指導の進め方
	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止と対応の進め方 		
	<ul style="list-style-type: none"> カウンセリング技法の基礎・基本 教育相談の進め方 		
	<ul style="list-style-type: none"> 非常災害時に役立つ技術 「避難所運営体験活動演習」 事件・事故災害発生時の危機管理 		
			<ul style="list-style-type: none"> 保護者等と連携した交流及び共同学習の進め方
	<ul style="list-style-type: none"> 「いわての復興教育」の在り方 		
	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校におけるキャリア教育の実践 		<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の意義と実際
	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい関わりを目指すティーチャーズ・トレーニングの実践 		<ul style="list-style-type: none"> 交流及び共同学習の評価と改善

※びと「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。